

クラウドサービス型「チケットシステム」あべのハルカスへの導入事例VTRを公開

当社は、あべのハルカスへご提供したクラウドサービス型「チケットシステム」について、導入事例紹介VTRをYouTubeにて公開いたしました。

あべのハルカスを運営する近畿日本鉄道株式会社は、関西の新名所として多数の来場が予想される「ハルカス300(展望台)」および「あべのハルカス美術館」のスムーズな運営を実現するチケット販売管理システムを検討。当社の提案を採用し、2014年3月より利用を開始されています。



VTRへは、下記URLまたはQRコードよりアクセスできます。ぜひご覧ください。



<http://ch.panasonic.net/jp/contents/12425/>

ワークフローシステム「MajorFlow」シリーズ 3製品の新バージョンを発売

当社の連結子会社であるパナソニック ネットソリューションズは、Web経費精算システム「MajorFlow Keihi」の新バージョンを4月15日、Web勤怠管理システム「MajorFlow Time」、Notes/Domino対応ワークフロー「総二郎」の新バージョンを5月7日より発売いたします。「MajorFlow Keihi」は「乗換案内Biz」と新たに連携することで、4月1日からの消費税率引き上げに伴うICカード利用時の1円単位の運賃精算に対応しました。「MajorFlow Time」「総二郎」も、新プラットフォームへの対応や新機能の追加などにより、さらに利便性を高めました。

イベント・セミナー予定

東京地区

第5回教育ITソリューションEXPO

日時 5月21日(水)~23日(金) 10:00~18:00

場所 東京ビッグサイト

[PC教室用シンクライアントシステム]などを出展します。

「標的型攻撃」と「モバイルセキュリティ」対策セミナー

日時 5月22日(木) 14:00~17:10

場所 アメリカ大使館

シリーズ「業務改革」セミナー(第4回) ~業務改革 実践編~

日時 5月23日(金) 14:30~17:00

場所 東京オフィス 26階セミナールーム

大阪地区

シリーズ「業務改革」セミナー(第3回) ~業務改革 実践編~

日時 5月16日(金) 14:30~17:00

場所 梅田オフィス セミナールーム

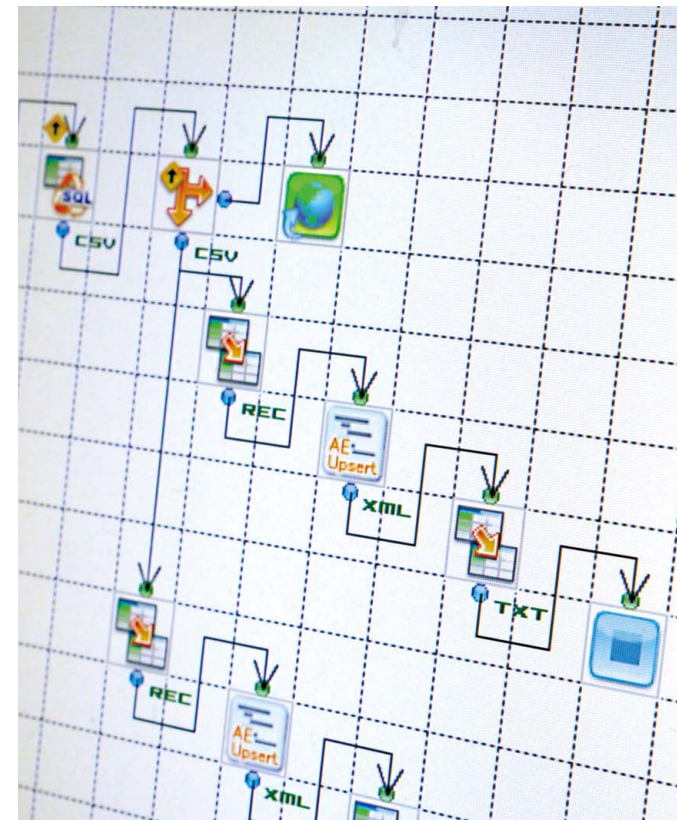
社内システムとSalesforceの共存を実現 連携ミドルウェアハンズオンセミナー

日時 5月22日(木) 13:30~17:00

場所 梅田オフィス セミナールーム

詳しくは<http://service.is-c.panasonic.co.jp/event/>をご覧ください!

Move to Delight



▲グラフィカルな画面で簡単に扱えるデータ連携ミドルウェア「ASTERIA」

Close Up Now

データがつながると、仕事がつながる! 「つなぐ」ソリューションで情報価値を最大化



TOPICS

クラウドサービス型「チケットシステム」あべのハルカスへの導入事例VTRを公開
ワークフローシステム「MajorFlow」シリーズ 3製品の新バージョンを発売



あいえず☆うちのBOSS

ソリューションビジネス本部 開発センター
グループマネージャー 藤井昭仁



あいえず☆うちのBOSS

その13



仕事やそれ以外でも、積極的にがんばってくれています。若手社員が多いので、リーダー的役割にもチャレンジしてください!!

今号のボス

ソリューションビジネス本部 開発センター
グループマネージャー 藤井昭仁

今回潜入するのは、当社のSIの要となる部署・開発センター。グループマネージャーの藤井昭仁について、入社5年目の内山今日子が教えてくれました。

「当部署では、ソフトウェア開発プロセスのうち、設計・開発・テスト工程を一貫して担っています。実践的な開発スキルを身につける場として新入社員も広く受け入れており、若手社員が非常に多いです。彼女も入社当初から開発センターに所属している一人。部署は普段どんな様子ですか? 「社内でも特に仲の良い部署です!部署の性質上、



開発センター主催「花見会」の様子

自分のパソコンに向かって行う作業が多いのですが、いつも和気あいあいとした雰囲気。人とのつながりを大事にする藤井さんの存在が大きいと思います。部署旅行など、藤井GMのもと企画されるイベントも多く、この4月には毎年恒例の花見会も催されました!

「藤井さんの心配りはオフの時だけではなく。あるプロジェクトが佳境に入り、導入支援のため私が長期出張に出た時も、オーバーワークになっていないかとこまめに話を聞いてくださいました。おかげで、挫折せずに導入を完遂できました。」



「いつものびのび」と笑顔の彼女。システムを生み出す最前線で光る“人の力”を感じました!

ソリューションビジネス本部 開発センター
内山今日子

編集後記

新年度がスタートし、当社にも新入社員14名が仲間入りしました。当社の新人研修として変り種なのが「座禅研修」。京都・宇治の禅寺へ泊まり込み、座禅・写経や境内の掃除などで学生気分を一掃させるというもの。毎年恒例のこの研修は、今年の新入社員にとっても驚きの連続だったよう。新入社員に負けないよう、社員一同ますますフレッシュな気持ちで取り組んでまいります。今年度もよろしくお願いたします!

発行元
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
法務部 広報・IRグループ
〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー16F
TEL 06-6377-0100 FAX 06-6377-0833 <http://is-c.panasonic.co.jp/>
※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。
※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

社長・前川のちよっと一言

より深く広げる

新年度がスタートし、昨年度策定した中期経営計画も2年目に入りました。今、私たちは「深く広げる」をキーワードにビジネスを推進していますが、その過程において、ひとつひとつのビジネスに対し、責任を持って完璧にやり遂げることの重要性を改めて感じています。お客さまとの関係性を築いていくとき、ビジネスは連鎖的。まずは、きっかけとなるビジネスがはじまります。では、このビジネスがひとつの節目を迎えたとき、次のビジネスにつなげるためのパトンは何でしょうか? ビジネスとビジネスをつなぐ

パトンは「結果」以外にありえません。もしもお客さまのご満足を得られたならば、それが次のビジネスへのパトンとなり、そうでなければ、それ以上の進展はないでしょう。責任を持って完璧にやり遂げた結果こそがお客さまとの関係性を深め、ビジネスを広げていく。こうしたビジネスの連鎖が真のビジネスパートナーへの一本道であるはず。今年度ももっと強い思いを持って、「深く広げる」取り組みを進めていきたいと考えています。



代表取締役社長 前川 一博
Kazuhiro Maegawa

データがつながると、仕事がつながる! 「つなぐ」ソリューションで 情報価値を最大化

システムは生き物。

その形は企業ごとに千差万別で、組織や制度変更の影響を受けながら増殖・変化し続けています。

そのためシステムとシステムをつなぐ部分はどうしても複雑化しがち。

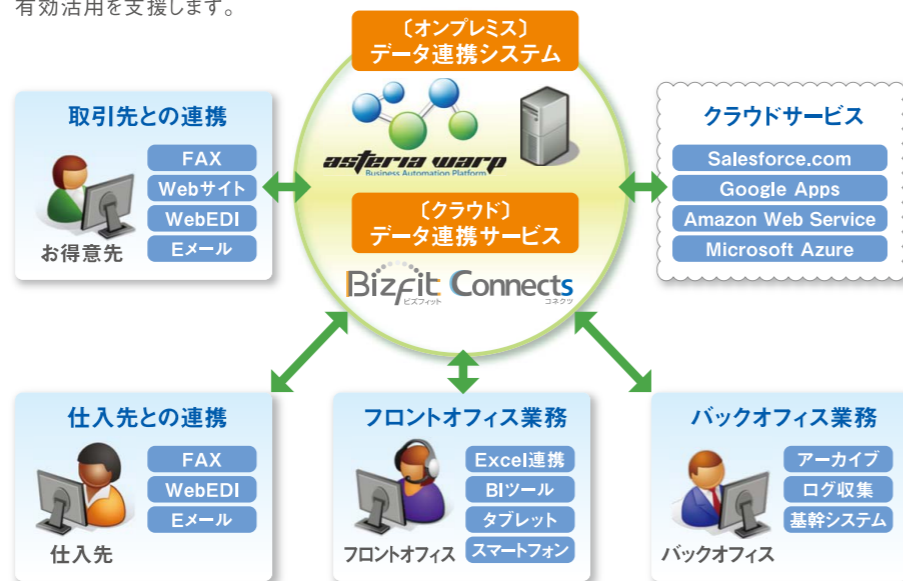
これはシステム部門にとって非常にやっかいな問題ですが、

この「つなぐ」を整えることで企業のデータ活用度は飛躍的に向上するのです!

例えば得意先からの発注データを販売管理システムに入力したり、部門ごとに分散している顧客情報を集約して管理したり。私たちは日常業務において、さまざまな形式のデータを作成し、加工しています。しかしデータフォーマットの種類が増えれば増えるほど、システム間の受け渡しに手間暇がかかったり、業務が担当者まかせになってしまうなどのリスクも。

こうした問題を解決し、現場のしゅみを活かしながら大幅な効率化を実現する策のひとつが、EAIツールによるシームレスなデータ連携です。パナソニックISでは、インフォテリア株式会社製のデータ連携ミドルウェア「ASTERIA」や自社開発のクラウド連携EAIサービス「BizFit Connects」による連携ソリューションをご提供しています。200社を超える導入経験にもとづく豊富な知識で、

お客様の業務効率化・タイムリーな情報の有効活用を支援します。

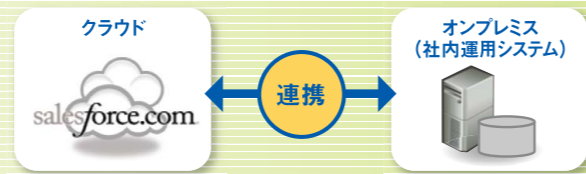


システムをトータルコーディネートする“しなやかさ”

社内運用を続けるべきか、クラウドへ移行すべきか…。企業のクラウド活用が珍しくなくなった今でも、これはITマネージャーを悩ませるテーマのひとつではないでしょうか。クラウドのコストメリットと俊敏性は、めまぐるしく変わる今日のビジネスシーンにおいて確かな魅力。しかし一方で、セキュリティリスクもゼロではありません。現実的には、すべてのシステムをクラウドに移行するのではなく、目的とメリットを見極めたうえでオンプレミス(社内運用システム)とクラウドを使い分けるケースが多く見られます。このようにオンプレミスとクラウドの両方にデータが存在する場合、データをつなぐための連携基盤を整えることが重要なポイント。

ASTERIA Salesforceアダプタ

パナソニックISのASTERIA用コンポーネント「ASTERIA Salesforceアダプタ」は、クラウド型CRMサービス「Salesforce」とオンプレミスとの柔軟な連携を実現する製品です。3月にリリースされた最新バージョンでは、大量データ連携に関する機能を強化。既存のIT資産を活かしながらよりしなやかに、システムの全体最適化を実現します。



導入事例

レポート

島津製作所 様

株式会社島津製作所は、分析・計測、医用、航空、産業の4分野を中心にさまざまなテクノロジー製品を生み出している先端企業。同社はグローバル展開を加速させるための取り組みとして、2012年に人事システムを刷新。周辺システムとの連携基盤に、パナソニックISの提案したデータ連携ミドルウェア「ASTERIA」を採用されました。

Before

SAP ERPの社員情報と紐づく周辺システムはざっと100システム近く。個別の連携構築では切りがない!

新人事システムとしてSAP ERPを導入するにあたり課題となったのは、SAP ERPと周辺システムとの情報連携でした。というのも、なんと100近くの周辺システムが社員情報と連携して動いており、ひとつひとつの連携を個別開発するには工数が足りなかったのです。また、周辺システムの改修を避けるため、周辺システムで扱うデータの形式は従来と同じものを使い続けたいという希望もありました。このため、SAP ERPと周辺システムとの橋渡しを行うEAIツールが必須となったのです。

情報システム部 部長の永野克己氏をはじめとするプロジェクトチームは、この状況を踏まえてEAIツールを選定。候補に挙がったのは「SAP ERP専用のデータ連携ミドルウェア」と、パナソニックISが提案した「ASTERIA」の2つでした。実は専用ミドルウェアの方が工数や費用は低く見込まれていたとのことですが、「グラフィカルな画面で簡単に扱えるASTERIAは連携処理をブラックボックス化することなく、汎用性・機能面においても今後の応用が利くだろう」という期待

からASTERIAを採用。パナソニックISの豊富な導入経験にも安心感を持っていただけました。



島津製作所
〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1番地
http://www.shimadzu.co.jp/

After

短い開発期間で効率的にデータ連携を実現! 連携処理の管理も容易に。

2012年1月から1年8ヶ月にわたるSAP ERPの導入プロジェクトにおいて、ASTERIAを用いたデータ連携処理の部分は半年の期間をかけて設計・開発・テストが行われました。

計画の遅延は許されない状況でしたが、パナソニックISの技術支援のもと、少ない工数でデータ連携開発を実現。よく使われるデータ連携処理をパターン化することで、開発工程だけでなく、その後のテスト工程も大幅に簡略化できました。また、すべての連携をASTERIAを経由して行うようにしたため、データ連携処理を一元管理できるようになりました。これによりシステム担当者による属人化も防ぐことができると、今後の運用管理においても大きな期待が寄せられています。

永野氏はデータ連携基盤の全社展開にも意欲を見せ、「今回のプロジェクトを成功事例として、別のデータ連携に対してもASTERIAを活用し、効率的な開発を進めていきたい」とコメントをくださいました。



株式会社島津製作所
業務システム統括部
情報システム部
部長
永野 克己氏

